

ゆかた姿がはっきり見える。顔も注意すると見分けがつきそうだ。

そこで、僕は、はっとした。

「ああ、やっぱり見られてた」と思った。

その時、お手伝いさんの一人が、僕の方を向いた。

僕は、咄嗟に頭を低くして、目を窓の線まで下げた。よく見ると、さっき窓で見ていた女の人の様だ。

こちらをじっと見ながら、

髪の毛を後ろで結びはじめた。

僕ははっとして、目を大きく開いた。

思った通り、その人は、そのまま、

ゆかたをさっと脱いだ。

ゆかたの下は、何もつけていない。

まわりで、お手伝いさんのおばさん連中が、

ニコニコしながら、注目する中、

その女の人は、裸で、プールに、さっと飛び込んだ。そして、バタフライで泳ぎ出した。

僕は、目を白黒して見ていたが、

そのバタフライの様子を見て、

「ああ、本当に、けつが丸出しだ！」と思った。

僕は、思わず、おかしくて、笑い出しそうになった。